

Unified Communications Manager Express 7.x 以降に関する FAQ

目次

概要

[最新バージョンの Cisco Unified CME の IOS 互換性マトリクスはどこで入手できますか](#)

[Cisco Unified CME のディレクトリの順序は変更できますか](#)

[iDivert キーは Cisco Unified CME でサポートされますか](#)

[Cisco Unified CME は "+" 番号ダイヤル パターンをサポートしていますか](#)

[Cisco Unified CME はダイレクト コール パークをサポートしていますか](#)

[Cisco Unified CME はコール モニタリング機能をサポートしていますか](#)

[Cisco Unified CME では個人アドレス帳を利用できますか](#)

[Cisco Unified CME はモビリティまたは SNR 機能をサポートしていますか](#)

[Cisco Unified CME 7.1 および 8.0 ではどのような拡張機能を使用できますか](#)

[どのバージョンの CME が新しい Cisco 8900 および 9900 シリーズの IP フォンをサポートしていますか](#)

[Cisco Unified CME 8.5 を使用してローカル短縮ダイヤル番号をいくつ設定できますか](#)

[ロシア語ロケールで IP フォンを使用する際、CME ローカル ディレクトリを空白で検索すると、XML 解析エラーが返されます。この問題をトラブルシューティングするにはどうすればよいですか。](#)

関連情報

概要

このドキュメントでは、Cisco Unified Communications Manager Express (Cisco Unified CME) 7.x 以降のバージョンに関するよくある質問に回答しています。

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

Q. 最新バージョンの Cisco Unified CME の IOS 互換性マトリクスはどこで入手できますか

A. 「[Cisco Unified CME および Cisco IOS ソフトウェア バージョンの互換性マトリクス](#)」にアクセスしてください。

Cisco Unified CME のサポート情報 (設計、設定、トラブルシューティング情報を含む) を取得するには、「[Cisco Unified Communications Manager Express](#)」を参照してください。

Q. Cisco Unified CME のディレクトリの順序は変更できますか

A. いいえ。ディレクトリの順序は変更できません。最初の 3 つの通話履歴ディレクトリは、IP

フォンに「ハードコード」されています。

Q. iDivert キーは Cisco Unified CME でサポートされますか

A. 現在、iDivert は Cisco Unified Communications Manager でのみサポートされています。Cisco Unified CME ではサポートされていません。ただし、回避策として、ボイスメールへの直接転送を使用してみてください。E.164 オプションを使用してこの設定を実行できます。設定については、「[コーラー ディレクトリを Unity Express メールボックスに転送する](#)」を参照してください。

Cisco Unified CME の iDivert 機能を実現するためのもう 1 つの次善策は、DND ソフトキーを使用する方法です。これは、すべての着信コールを、電話機に設定された各回線のコール転送用の宛先に転送します。たとえば、ボイスメールに転送するには、[DND] ソフトキーを押します。

注: コール転送用の宛先が設定されていない場合、[DND] ソフトキーを押しても、呼び出し音は無効になります。無応答時転送が有効になっている場合、着信コール中に [DND] ソフトキーを押すと、そのコールが無応答時転送用の宛先に転送されます。コール自動転送がイネーブルになっていない場合、[サイレント (DND)] ソフトキーを押すと呼び出し音と視覚的なアラートはデイスレーブルになりますが、コール情報は電話機の画面に表示されます。詳細については、「[応答不可の設定](#)」を参照してください。

3 番目の次善策は、Cisco Unified CME 4.3 以降で使用できます。ボイスメールへの転送機能によって、電話機ユーザは、発信者を直接ボイスメール内線番号に転送できます。

次の手順を実行します。

1. [TrnsfVM] ソフトキーを押して、コールを保留します。
2. 内線番号を入力します。
3. [TrnsfVM] ソフトキーをもう一度押して、転送を確定します。

注: [TrnsfVM] ソフトキーは、Cisco Unified IP Phone 7905、7912、7921、および Cisco VG224 または Cisco ATA に接続されているアナログ電話機ではサポートされません。これらの電話機では、trnsfvm FAC がサポートされます。

Q. Cisco Unified CME は "+" 番号ダイヤル パターンをサポートしていますか

A. はい。Cisco Unified CME は、バージョン 7 以降で + 番号ダイヤル パターンをサポートしています。

Q. Cisco Unified CME はダイレクト コール パークをサポートしていますか

A. はい。Cisco Unified CME は、バージョン 7.1 以降でダイレクト コール パークをサポートしています。

Q. Cisco Unified CME はコール モニタリング機能をサポートしていますか

A. はい。Cisco Unified CME は、バージョン 7.1 以降でコール モニタリング機能をサポートしています。

Q. Cisco Unified CME では個人アドレス帳を利用できますか

A. はい。Cisco Unified CME は、バージョン 8.x 以降で個人アドレス帳をサポートしています。

Q. Cisco Unified CME はモビリティまたは SNR 機能をサポートしていますか

A. Cisco Unified CME は、バージョン 7.1 以降でモビリティまたはシングル ナンバー リーチ (SNR) 機能をサポートしています。Cisco Unified CME 上にモビリティを設定するには、次の手順を実行します。

1. モビリティ機能を有効にし、ディレクトリ番号で SNR を設定します。
2. ephone テンプレートを作成し、この ephone テンプレートでモビリティ ソフトキー オプションを割り当てます。
3. ephone に新しく作成した ephone テンプレートを適用します。

Q. Cisco Unified CME 7.1 および 8.0 ではどのような拡張機能を使用できますか

A. リリース 12.4(24)T では、SNR、ウィスパー インターコム、SIP 回線側の機能拡張、CME/CUE のユーザ名/パスワードの同期、PRI での MLPP、拡張 BLF モニタリング、SIP 回線側の DND 更新、CME 間の SIP トランク上でのビデオなど、多数の高度な Cisco Unified CME および Cisco Unified SRST の機能が提供されます。

Q. どのバージョンの CME が新しい Cisco 8900 および 9900 シリーズの IP フォンをサポートしていますか

A. CME 8.5 では、新しい Cisco 8900 および 9900 シリーズの IP フォンがサポートされます。また CME 8.6 では、Cisco IP Phone のビデオ電話サポート、複数の Cisco IP Phone でのネイティブ ビデオ会議などのコラボレーション機能が提供されます。また、CME 8.6 では、ユーザが iPhone または iPod Touch デバイスで仕事用の内線番号にアクセスできる向上したモビリティが提供されます。

Q. Cisco Unified CME 8.5 を使用してローカル短縮ダイヤル番号をいくつ設定できますか

A. Cisco Unified CME 8.5 では、33 個のローカル短縮ダイヤル エントリ (番号 1 ~ 33) に制限されています。ローカル短縮ダイヤルは speeddial.xml ファイルを使用します。

注: Cisco Unified CME システムでは、各電話機に最大 33 個のローカル短縮ダイヤル番号 (コード 1 ~ 33)、最大 99 個のシステムレベルのスピードダイヤル番号 (コード 1 ~ 99)、またはこれら 2 つの番号の組み合わせを持つことが可能です。同じスピードダイヤルコード (タグ) でローカルとシステムレベルの両方のスピードダイヤル番号をプログラムした場合は、ローカル番号が優先されます。通常、コード 1 ~ 33 はローカルの電話機ごとのスピードダイヤル番号用に確保し、コード 34 ~ 99 はシステムレベルのスピードダイヤル番号用にして、競合しないようにします。

詳細については、「[短縮ダイヤル ボタンと短縮ダイヤル](#)」を参照してください。

Q. ロシア語ロケールで IP フォンを使用する際、CME ローカル ディレクトリを空白で検索すると、XML 解析エラーが返されます。問題をトラブルシューティングするには、どうすればよいですか

A. 回避策として、英語ロケールを使用します。この問題は Cisco Bug ID [CSCtq80497](#) ([登録ユーザのみ](#)) に記述されています。

関連情報

- [Cisco Unified Communications Manager Express システム アドミニストレータ ガイド](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)